

長期構想の策定に向けて(岐阜県の将来構想研究会報告)概要版

研究会で分析し議論を行った成果

人口・世帯	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少 2005年:210万人→2035年:160万人 1960年頃に相当するが、年齢構造は大きく変化 ○15～64歳の現役世代が43万人減少 2005年:135万人→2035年:93万人 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人消費・地域内消費の減退 小売業年間販売額は現役世代人口と連動する傾向 ○労働力不足の深刻化 2035年までに30万人減 ○労働力人口の減少に伴う経済成長の鈍化 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外から所得を稼ぎ出す ○国内外から人と消費を呼び込む ○女性、高齢者を含め労働力の底上げを図る ○高い価値を生み出し、生産性を高める 	
<ul style="list-style-type: none"> ○少子化の進行 出生数はピーク時のおよそ1/2 出生率は人口維持に必要な2.08を大きく下回る1.35に 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少に歯止めがかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを生み育てやすい社会をつくり、少子化に歯止めをかける 	
<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代の県外流出が顕著 仕事を求めて20～30代を中心に年間約4千人が転出超過 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働力不足の深刻化、地域社会の担い手不足 ○親となる世代が減少し少子化を加速する 	<ul style="list-style-type: none"> ○若者が働きたいと思える地域をつくる ○ふるさとの誇りと愛情を育てる 	
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化の進展 平均寿命はさらに2歳程度伸び 高齢率 2005年:21%→2035年:33% 10万人程度増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○要介護高齢者の増大と介護人材の不足 ○入院・通院患者の増加と医療人材の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が生涯現役で元気に活躍できる地域をつくる ○高齢者を支える介護・医療などの体制を整える 	
<ul style="list-style-type: none"> ○世帯の小口・多様化 三世帯世帯、夫婦と子世帯は減少し、単独世帯、夫婦のみ世帯が増加、母子・父子世帯が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○1人暮らし高齢者が増加し、万一健康を損なった場合生活に困窮する高齢者の増加が懸念 ○地域のつながりが低下し、コミュニティが弱体化 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援を必要とする人を助け、応援する ○人とつながり、地域をつくる力を育てる 	
<ul style="list-style-type: none"> ○在住外国人の増加(約5万5千人(2006年)) 製造業の工場等で働く日系ブラジル人、中国人の増加が顕著 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な国籍や文化をもった人たちが地域社会で共に暮らす「多文化共生社会」が到来 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人と外国人の間に存在する「言葉・制度・心」の壁を取り除き、外国人の力を地域に活かす 	
地域・コミュニティ	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○全県的に人口は減少。都市部では高齢者が急増する一方、高齢人口が現役世代人口を上回る地域もあり ○中心市街地の空洞化や郊外団地の過疎化 ○単身高齢者の増加や、消防団員の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済力格差の顕在化 ○過疎化の進行による集落維持の困難化 ○空家の増加、小中学校の維持の困難化等が発生 ○地域のつながりが低下し、コミュニティが弱体化 	<ul style="list-style-type: none"> ○強みを活かして、所得を得られる地域をつくる ○人が集まり、お金の回る、拠点性の高い地域をつくる ○人とつながり、地域をつくる力を育てる ○ふるさとの誇りと愛情を育てる 	
農林業・県土	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○農業の担い手の高齢化と減少 基幹的農業従事者の約7割が高齢者、農業就業人口は20年間で約4万人減少 ○食料消費は現役世代人口に連動 ○国産材価格低迷による放置人工林増大と森林技術者の減少 森林技術者は1980年当時の約2割に減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業の担い手がさらに減少 基幹的農業従事者は2005年の4万人が2035年には1万3千人に減少見込 ○耕作放棄地の増大と農地の多面的機能の喪失 ○食料消費縮小により、農業所得が減少する可能性 ○住宅を取得する若い世代の減少により新規住宅需要が減少し、木材需要がさらに縮小する可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ○強みを活かして、所得を得られる地域をつくる ・利益率の高い農産物の生産・販売を拡大する ・県産材の利用を促進し、林業所得を上げる ○持続可能な農山村をつくる 	
<ul style="list-style-type: none"> ○橋りょうや道路、農業水利施設などの老朽化 1965年以降整備が進められた老朽橋が増加。道路延長も増大し、補修など修繕費用が増大 	<ul style="list-style-type: none"> ○橋りょうや道路、農業水利施設などの老朽化に伴う更新費・維持管理費の増大 ○民間投資の減少に伴う建設業の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会資本の安全性を高める 	
産業・経済	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○製造業の構造変化と経済のサービス化 製造業の主力は繊維、窯業土石から機械工業にシフト。第3次産業比率が増加 ○労働生産性が低く、県民所得も低迷。 1人当たり県民所得は中部圏で最下位。 ○就業者の減少(1995年以降4万人減)と非正規雇用の増大 ○グローバル経済の深化、国際競争の激化 製造業の輸出額、外国人旅行者数は年々増大 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際競争、企業間競争はさらに激化し、技術力を活かした付加価値の高い製品を作り出す製造業の振興が求められる ○今後増加する高齢者の介護や生活支援を行うサービス業等が拡大する ○若年労働者はさらに不足する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外から所得を稼ぎ出す ○国内外から人と消費を呼び込む ○人が集まり、お金の回る、拠点性の高い地域をつくる ○若者が働きたいと思える地域をつくる ○女性が働きやすい地域をつくる ○高齢者が生涯現役で元気に活躍できる地域をつくる ○人の質を高め、高い価値を生み出し、生産性を高める 	
県民生活	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○医療人材の高齢化、不足(地域や診療科の偏在) ○障がいのある子どもの増大 ○サイバー犯罪の増大 ○消費者トラブル、多重債務者の増大 ○女性や子どもに対する暴力・虐待の増加 ○高齢者が関わる交通事故の増大 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療に従事する人材や病床の不足が懸念 ○障がいのある子どもの就学・就職の確保が求められる ○1人高齢者の増加等による消費者トラブルの増加 ○地域内消費の減退による経済的に困窮する個人の発生が懸念 ○高齢者が関わる事故はさらに増大する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で医療に携わる医師・看護師等を確保する ○障がいのある人を支援する ○犯罪のない地域をつくる ○消費者問題、サイバー犯罪など時代の流れを敏感に捉えて暮らしの不安を解消する ○交通弱者を守り、高齢者の交通事故対策を充実する 	
環境	【現状・見通し】	【起こりうること】	【取り組むべきこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○地球規模の温暖化の進行 本県の平均気温は約100年間で1.6～2.2度上昇 ○資源の枯渇 ○食料自給率の低迷 ○食をめぐる問題の頻発 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化はさらに進む恐れ。 ○地球温暖化による農作物の生育環境変化や価格高騰が懸念 ○アジア諸国の経済成長に伴う食料消費の増大 ○食の安全性がさらに求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガスの削減と循環型社会づくりに取り組む ○美しい自然と生活環境を守る ○徹底した地産地消と食育に取り組む ○安全な食品の生産・流通を確保する 	

本報告の基本姿勢

- ・時代の流れを現実的に見据える
- ・政策に取り組む目的を明確にする
- ・政策の方向性を提示する
- ・課題と将来像を県民と共有する

<県の存在意義とは何か～県政の目的>

- 県民だけではできないが、誰もが必要としていることを行う(県土整備、防災、防犯、教育など)
- 支援を要する困難な立場にある人々を助ける(福祉など)
- 県民が食べていけるようにする(産業経済の振興など)
- 岐阜県という空間を代表して、国内外で果たすべき役割を担う(環境など)

目指すべき将来像と 政策の方向性

人・モノ・情報が活発に交流する岐阜県を目指して

地域内消費を増大させるために

- (重点政策1) 地域外から所得を稼ぎ出す
- ・ものづくり産業の競争力を強化する
 - ・県内農産物を国内外市場へ売り出す
 - ・地場製品の付加価値やブランド力を高め、市場を拡大する
- (重点政策2) 国内外から人と消費を呼び込む
- ・観光交流人口と観光消費額を拡大する
 - ・都市と農山村を交流居住する人を増やし、移住につなげる

地域内の経済的な循環を高めるために

- (重点政策3) 人が集まり、お金の回る、拠点性の高い地域をつくる
- ・暮らしの質を高める生活支援サービス産業を育成する
 - ・顔が見え、多様な人が集まり、ものが売れるまちをつくる

新しい価値を創造できる地域をつくるために

- (重点政策4) 人の質を高め、高い価値を生み出す
- ・産業人の基礎となる確かな学力や生活習慣を育てる
 - ・新たな価値を創造できる人を育てる
 - ・多様な連携による研究開発を支援する
 - ・ITを活用して生産性を高める

過疎化が進む地域に活力を生み出すために

- (重点政策5) 強みを活かして、所得を得られる地域をつくる
- ・滞在と消費の拡大を目指した観光誘客の取組を強化する
 - ・利益率の高い農産物の生産・販売を拡大する
 - ・県産材の利用を促進し、林業の所得を上げる
 - ・地域の実情を見極めた企業誘致を行う
- (重点政策6) 持続可能な農山村をつくる
- ・農業の担い手を育てる ・森林技術者・林業事業体を育成・確保する
 - ・耕作放棄地を増やさない ・森林所有者の山離れを防ぐ
 - ・農地・森林の多面的な機能を維持する
 - ・多様な農業参加のニーズを活力ある農山村づくりにつなげる

誰もが生き生きと活躍できる岐阜県を目指して

多様な担い手が支える社会をつくるために

- (重点政策7) 若者が働きたいと思える地域をつくる
- ・地域で働く意欲を持つ若者を育てる
 - ・若者が働きたいと思える職場をつくる
 - ・若者の経済的な自立を支援する
- (重点政策8) 女性が働きやすい地域をつくる
- ・多様な働き方を実現する
 - ・離職した女性の再就職を支援する
 - ・地域や企業の子育て支援を充実させる
- (重点政策9) 高齢者が生涯現役で元気に活躍できる地域をつくる
- ・高齢者の働く場の確保と能力開発を進める
 - ・高齢者による地域活動を拡大する
 - ・若い頃からの健康づくりを進める
- (重点政策10) 外国人の力を地域に活かす
- ・外国人のコミュニケーションを支援する
 - ・外国人子女の教育環境を整える
 - ・安心して働き、暮らせる環境を整える
 - ・多文化共生の地域づくりを進める

つながり、支え合える岐阜県を目指して

地域を支える人を育てるために

- (重点政策19) 人とつながり、地域をつくる力を育てる
- ・子どもと関わり、子どもの育ちを伸ばす環境をつくる
 - ・人とつながる力を育てる
 - ・地域づくりに取り組む人を育て、活動の輪を広げる
 - ・人権を尊重し、人を大切にする心を育てる

<県政運営の姿勢>

- 徹底した行財政改革～カネを使わず、知恵を使う県政づくり
- 県民協働～県民主体の自律的な地域づくり
- 市町村との適切な役割分担～市町村が主役の地域づくり
- 広域連携の推進～行政区域にとられない地域づくり
- 地方分権の推進～地方が主役の国づくり

安心して暮らせる岐阜県を目指して

少子化に歯止めをかけるために

- (重点政策11) 子どもを生み育てやすい社会をつくる
- ・結婚や子育てを応援する社会をつくり出す
 - ・地域での子育て支援を充実させる
 - ・子育てしながら働き続けられる環境をつくる

増加する高齢者を支えていくために

- (重点政策12) 高齢者を支える介護・医療などの体制を整える
- ・介護人材を育成・確保する
 - ・地域全体で介護する家族を助ける
 - ・かかりつけ医と介護・病院の連携を強化する
 - ・一人暮らし高齢者などを地域で支援する体制を整える

支援を必要とする人にあたたかい社会をつくるために

- (重点政策13) 支援を必要とする人を助け、応援する
- ・障がいのある人を支援する
 - ・母子・父子家庭を支援する
 - ・女性に対する暴力や児童虐待を防止する
 - ・交通弱者を守る

安全・安心な地域をつくるために

- (重点政策14) 暮らしの不安を解消する
- ・地域での医療に携わる医師・看護師等を確保する
 - ・地域防災体制を強化する
 - ・犯罪のない地域をつくる
 - ・消費者問題に積極的に取り組む
 - ・安心してITを活用できる環境をつくる
- (重点政策15) 社会資本の安全性を高める
- ・道路・橋など社会基盤の安全性を高める
 - ・洪水・土砂災害から県土を守る

自然と共生し、地球を大切にする岐阜県を目指して

地球温暖化を防止し、美しい環境を残すために

- (重点政策16) 温室効果ガスの削減と循環型社会づくりに取り組む
- ・温室効果ガス排出削減に向けた3Rの普及に積極的に取り組む
 - ・温室効果ガス排出削減につながる仕組み・体制づくりを進める
 - ・車に過度に依存しない脱炭素型都市をつくる
 - ・新しいエネルギーの普及・自給に取り組む
- (重点政策17) 美しい自然と生活環境を守る
- ・廃棄物の適正な処理対策に取り組む
 - ・生活環境対策に取り組み、美しい水環境を守る
 - ・自然生態系を保全する

食料自給を向上させ、食の安全を確保するために

- (重点政策18) 徹底した地産地消と食の安全確保に取り組む
- ・県産農産物の消費を拡大する
 - ・安心して食事ができる環境をつくる

(重点政策20) ふるさとへの誇りと愛情を育てる

- ・ふるさとのよさを教え、伝える ・ふるさとのよさを守る
- ・ふるさとの自慢を見つけ出す ・ふるさとの自慢をつくりだす

<今後予想される社会像>

- 様々な地域とつながり、交流し、共に伸びる「交流社会」
- より多くの人たちが活躍する「一人ひとりが輝く社会」
- 小さくても、高い価値を追求する「濃縮社会」
- 制約の中で心の満足を得る「足を知る社会」
- 多様な人々が助け合う「つながる社会」